

「ライン導水ブロック-F型」を活用した 自転車通行空間整備事例



自転車専用通行帯

東京都国道事務所



自転車専用通行帯

東京都第五建設事務所



自転車道

大阪府高石市役所



自転車道

兵庫県 西宮土木事務所



車道混在

徳島市役所



車道混在

高松市役所



車道混在

長野県須坂市役所



車道混在

宮崎河川国道事務所



小型水路内蔵型歩車道境界ブロック

ライン導水ブロック-F型 PAT. とは

ライン導水ブロックの構造的な特徴

L型街渠の代替構造物として、歩車道境界ブロックと基礎コンクリートを一体化し、水路と集水スリットを設けた構造とすることで、



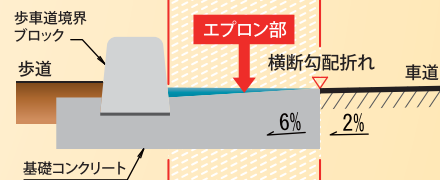
エプロンをなくすことができます!

その結果、このようなメリットが生まれます

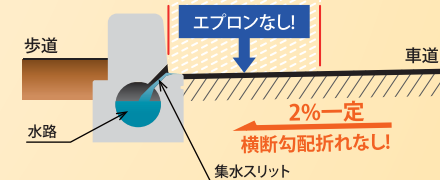
① 平坦な路面が拡大し、路肩走行の安全性が向上

② 水溜り解消・水ハネ抑制

▽ L型街渠



▽ ライン導水ブロック

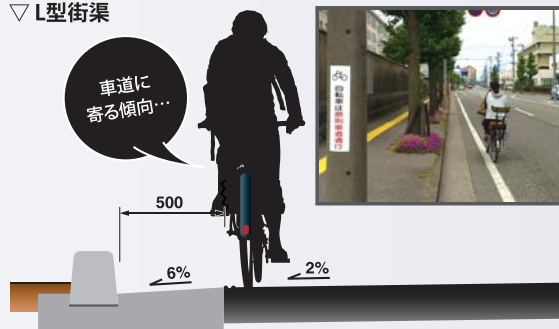


① 路肩走行の安全性向上

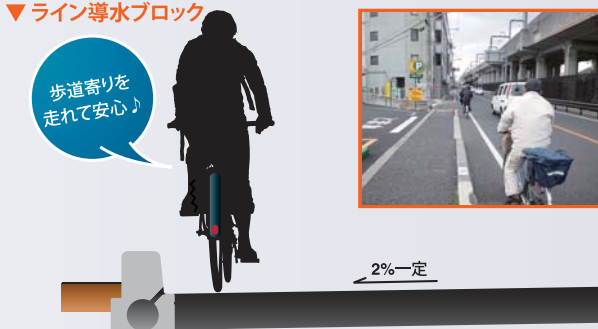
(エプロンがなくなることで) 段差や溝を解消し、平坦性を確保します!

自転車走行空間を拡大し、安全な走行を実現!

▽ L型街渠



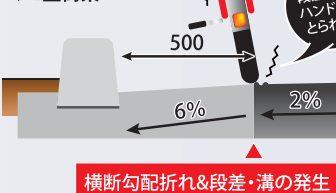
▽ ライン導水ブロック



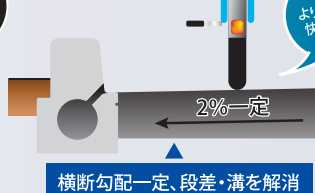
平坦性の確保、段差・溝の解消

- ▽ 横断勾配折れがなくなり、平坦性を確保!
- ▽ 通行の妨げとなる段差や溝が解消!

▽ L型街渠

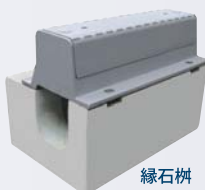


▽ ライン導水ブロック



滑りにくい構造

- ▽ 雨天時、エプロン部での滑りを解消!
- ▽ 雨天時、グレーチングでの滑りの問題を解消!
(「縁石柵」は車道側に突出しない構造のため)



▽ L型街渠 + 街渠柵



▽ ライン導水ブロック + 縁石柵

